

宇宙戦略基金に関する宇宙開発利用部会（第 84 回）での主な委員コメント

宇宙戦略基金の技術開発テーマ（文部科学省分）に関して、第 84 回宇宙開発利用部会（非公開パート）等における委員からの主なコメントは以下の通り。

【総論】

- 開発が上手くいかなかった場合のリスクマネジメント、透明性の確保、情報公開等に関して、今後どのような形で行われていくのか。
- 衛星分野では軌道上サービスのテーマが含まれていないが、その理由如何。
- 宇宙戦略基金の運用においては機動性も重要であり、チェックポイントを設け、支援テーマの増減も含めて柔軟に軌道修正していくことが望まれる。

【宇宙輸送機の革新的な軽量・高性能化及びコスト低減技術】

- 金属 3D 積層技術については、不具合対応を含めた技術検証を実施できる開発体制を如何に作れるかが非常に重要。

【将来輸送に向けた地上系基盤技術】

- 1 段再使用技術を用いることで、燃料が余分に必要になり打上げ能力が下がる等の懸念もあるが、こうした要素をどの程度踏まえた上でテーマ設定しているのか。

【高分解能・高頻度な光学衛星観測システム】

- 国際競争力あるビジネス利用と、従来は官が担ってきた災害発生時の緊急観測等の防災・減災などの社会的ニーズ対応の双方を進めるに当たり、データポリシーについては今後どう設定していく予定か。

【高精度衛星編隊飛行技術】

- 大学、アカデミアがしっかりと参画できるスキームとしていただきたい。

【低軌道自律飛行型モジュールシステム技術】

- モジュールシステム全体で採択 1 件というのは粒度が大きくないか。もう少し粒度の小さな支援の枠組みもあると良いのではないか。

【低軌道汎用実験システム技術】

- ライフサイエンス以外の実験装置開発、例えばマテリアルサイエンス実験装置などへの支援はどうしていくのか。